

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
確かな学力を身に付ける	自分の良さや可能性を知り 自己実現に向かう力

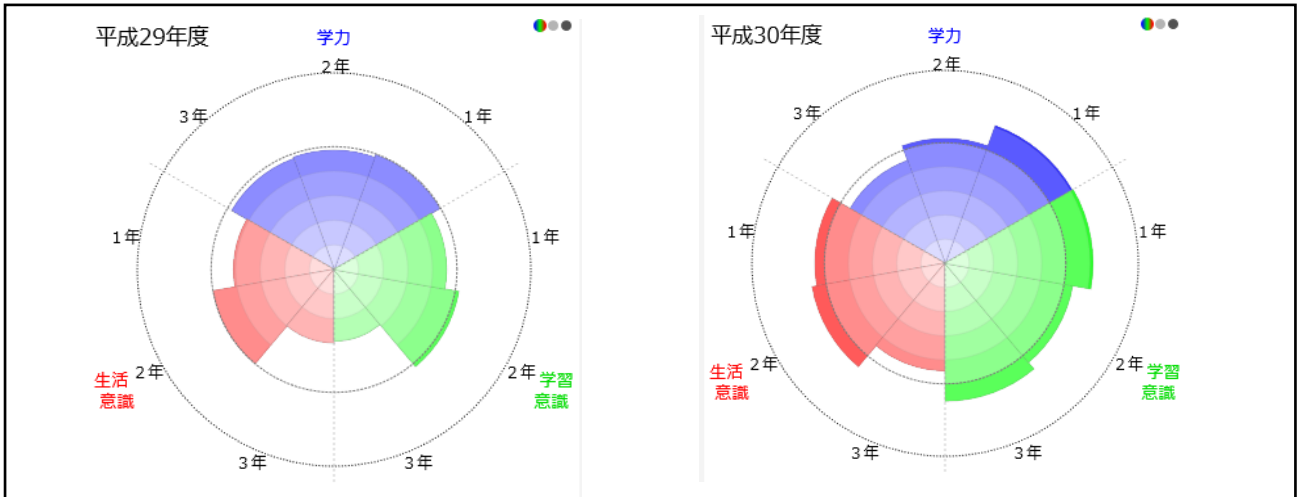
(2) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒と教職員の信頼関係を絶えず築き、生徒一人ひとりを大切にされた教育活動を推進します。 ・教職員研修の充実を図り、チームワークとコミュニケーションを大切にされた協働体制を推進します。 ・子どもの交流、小中合同の研究・研修を充実させ、小中一貫カリキュラムのマネジメントに努めます。 ・学校運営協議会を基に、保護者・地域との協働による学校づくりを進めます。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT（パソコンや大型ディスプレイ、タブレット等）の活用や、アクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）の取組を充実させ、生徒が意欲的に取り組む授業の実践を図ります。 ・小学校との連携を基盤に、よりわかりやすい授業の実践に向けたカリキュラムの充実に努めます。
担当 学習指導部	

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握



(1) 学力の概要

学習意識・生活意識について年を追うごとに高まりがみられ、総じて学力に関して向上してきているが、学年により傾向が異なるため、個々に応じてきめ細かく指導し、高まってきた学習意欲を大切にしながら、学力向上へとつなげていきたい。

(2) 教科学習の状況

国語科：「知識・理解」を生かして、「読む能力」を高めていきたい。

社会科：「思考・判断・表現」はさらに伸びてきている。「知識・理解」の定着を図りたい。

数学科：「数学的な技能」が高まってきている。バランスよく力をつけることを意識したい。

理科：理科への興味・関心は高く、学習の必要性も感じている。「知識・理解」を定着し、「思考・表現」につなげることが今後の課題である。

英語科：学習意識は高まってきている。言語に関する知識を定着させ、表現することに自信をもって取り組めるよう意識していきたい。

3 令和元年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
国語	◆ 思いや考えを表現する力	○基礎基本の学力向上に努める。 ○自ら学び、自らの思いや考えを表現できる語彙力を養うために、辞書を引いたり、文章を書いたりする機会を増やしていく。 ○語彙力・表現力を高め、その成果を日常生活に活かす。	
社会	◆ 事象をふまえ自ら思考判断表現する力	○地理分野、歴史分野の基礎的な学力の定着をはかる。 ○授業で扱う社会的事象などについて「なぜ」という視点を持ち、その原因や背景、有効な対策などを考え発表する。	
数学	◆ 論理的思考力と努力し継続する姿勢	○教え合う活動や反復練習を積極的に行い、粘り強く取り組むことで基礎・基本の定着をはかる。 ○数学的活動を展開し、事象を自ら考え考察したり説明したりする機会を増やし、数学の楽しさを実感できるようにする。	
理科	◆ 事象（情報）をふまえ自ら思考判断表現する力	○実験・観察の結果に基づき考察を行う。 ○実験・観察の結果についてグループ討議を行い、そこから考えられることを発表する。	
音楽	◆ 思いや考えを表現する力	○生徒同士が、思いや意図をもって音楽で表現する場を積極的に設定し、自信をもって自己表現できる力を養うことを意識して授業を展開する。	
美術	◆ 思いや考えを表現する力	○いろいろな基礎技法や知識を学び、実際にそれを使って制作することにより、表現の幅を広げる。 ○自分で考え計画を立てて進めるといった主体性を育むことにより美術の良さ深さを知る。	
保体	◆ 自分の課題に前向きに取り組む力	○生徒が学習の見通しをもち、自らの課題を発見し、運動の楽しさ、達成感を味わいながら課題解決を図る。	
技・家	◆ 課題解決に必要なものを選択する力 課題を理解する力	○日常生活に活かせる体験などを通して基本的な学習の習得を進める。 ○協力して課題解決に向けて取り組み、必要なものを選択できる力を育てる。	
外国語	◆ 人々と考えや思いを共有するコミュニケーション能力	○単語や文法の基礎的な学力の定着をはかる。 ○生徒が主体的に自分の考えや意見を表現できるよう、目的・場面・状況などを設定し、英語でのコミュニケーション活動を充実させる。	

道徳	◆より良い社会を創るために貢献する力	○道徳教育の要として計画的、発展的な指導によって補充、深化、統合し、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する。	
特活	◆自分とは異なる考え、意見を認め受け入れる力	○日常的に、様々な生徒が活躍できる「居場所づくり」「絆づくり」の推進に努める。 ○いじめ・暴力根絶を生徒間の信頼関係構築から進めるために、リーダー研修会を実施し、集団のリーダーの育成に努める。	
総合	◆よりよい社会を創るために貢献する力	○職業講座・職場体験など体験学習の充実から自尊感情を育む。 ○福祉・人権国際理解など体験学習を通じて確かな人権意識を高める。	
個別級	◆失敗から学ぶことができる力	○教材や教具を通じ、様々な体験活動を積極的に設定して、自ら学び・考え・行動できる生徒を目指していく。	